

2 年生 実践事例

「スノーランド」

指導目標	◎冬の特徴に気付き、冬の生活や自然に親しんだりしようとする。 ◎冬の行事をみんなで協力して楽しめるよう、工夫をすることができる。 ◎冬には様々な行事や楽しみ方があることに気付く。 ◎公共交通機関に乗る際のルールやマナーを理解することができる。
公共交通を教材とする利点	バスの利用場面について、どこがいけないのか、どうしたら良いのかを話しあったりロールプレイをすることで、公共交通への関心を高めるだけでなく、「周りの人のことを考えて利用する」といった「公德心」の高まりを期待する。最終的には、普段家庭で公共交通を利用する際にも、「優先席に注意する」「正しい座り方をする」という意識を持てるようにする。
対象学年	2年生
対応教科	生活科
標準校時	15コマ
学習構成	<p>1. 雪まつりに行くじゅんぴをしよう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">・雪と友達になるために、雪まつりにバスで行く計画を立て、イラストやロールプレイで正しいバスの乗り方を考え、周りの人のことを考えながらバスに乗ることが大切なことに気づく。 <p>2. 雪まつりに行こう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">・約束事をみんなで確認し、ルールを守ってバスで実際に雪まつり探検に行く。 <p>3. 雪遊びの計画を立てよう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">・雪まつりに負けないくらい楽しい自分たちの雪遊び「スノーランド」をつくるために、できることを考える。1年生も一緒に楽しんでもらうために、招待状や看板などの準備をする。 <p>4. 雪遊びをしよう</p> <ul style="list-style-type: none">・「スノーランド」をひらき、1年生も一緒に楽しみながら、雪と友達になる。

札幌らしい交通環境学習とは、「MM教育」に着目し、「交通」の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を通じ、広く、環境意識や公共の精神を醸成することを目的としている。初等教育における学習教材として適することが、これまでの研究事例等で明らかとなっている。

※「MM」とは、一人ひとりの移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通施策。

■実施例

実施校 札幌市立三角山小学校 実施日 2015年1月28日（水） 6校時

科目/单元名 生活「スノーランド」[15時間扱い] 指導者 内藤 広大

【指導計画】

1.教材にかかわって

①学習指導要領の位置づけ

[小学校学習指導要領解説 生活編]

●第2章 内容

[第1学年及び第2学年]

(4) 公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

「みんなのものだからていねいに使おう」「他の人に迷惑をかけないように静かに利用しよう」「いつもお世話になっている管理人さんにお礼を言おう」などと、身の回りにはみんなで使うものがあることや、それを支えている人々がいることを実感的にわかることが大切である。

(中略)

町を探検する中でバスや電車などの乗り物を利用する場合には、公共の交通機関はたくさんの方が利用していることや、みんなで気持ちよく利用するためのルールやマナーがあることなどに気付き、安全に気を付けて正しく利用できるようにすることが大切である。

②モビリティ・マネジメント教育の視点から

学級の子どもたちに行った聞き取り調査では1週間に1回以上の公共交通機関に乗る子は19人中4人、一か月に一度も乗らないということがよくある子は19人中10人、市電に一度も乗ったことがない子が19人中14人という結果が得られた。

このことから市街地のほぼ100%にアクセス可能な札幌市の中央区に位置しているにもかかわらず、自動車依存の高い地域であること、それによって子どもたちの公共交通機関の利用経験はとても乏しいということがうかがえる。そのような子どもたちにとって公共交通機関の種類や利用の仕方、利用時のマナーなどを、経験を通して学習することは非常に価値がある。

本単元の最後にはバスに乗ってさっぽろ雪まつりに探検に行く。本時はそのためにバスの乗り方を学習する場面である。

本時では、具体的なバス利用の場面について、どこがいけないのか、どうしたら良いのかを話し合ったりロールプレイをしたりして考えていく。この学習を通して公共交通機関について関心を高めるだけでなく、「周りの人のことを考えて利用する」といった「公德心」の高まりも期待している。最終的には雪まつり探検だけでなく、普段家庭で公共交通機関を利用する際にも、今回の学習を生かして「優先席に注意する」「正しい座り方をする」という意識をもてる姿をねらっている。

③資料の活用

バス車内の場面が描かれたイラストを多数提示し、それぞれの行為はどうしていけないのか具体的なイメージをもって考えることができるようにする。

2. 単元にかかわって

●単元の目標

- ・冬の特色に気付き、冬の生活や自然に親しんだりしようとする。
- ・冬の行事をみんなで協力して楽しめるよう、工夫をすることができる。
- ・冬には様々な行事や楽しみ方があることに気付く。
- ・公共交通機関に乗る際のルールやマナーを理解することができる。

●単元の構成

	子どもの主な活動	子どもの主な活動
雪まつりに行くじゅんびをしよう【3時間】	<p>たくさん雪がつもったよ みんなの雪のイメージは</p> <p>雪合戦 スキー すきい きりい ゆきかき きれい すきい びちゃびちゃ</p> <p>でも雪は冬だけのもの 春になったらなくなっちゃうよ！</p> <p>冬の間には雪といっばい遊んで、 雪と友達になろう！</p> <p>そのために…</p> <p>雪まつり見学にいこう</p> <p>スノーランドであそぼう 1年生も呼びたいな</p> <p>雪まつりに行く計画を立てよう！</p> <p>どのコースで回ろうかな</p> <p>どんなことを調べようかな</p> <p>バスに乗る時に注意することは？</p> <p>騒がない 前の座席をけらない 走らない 優先席を確かめる</p> <p>周りの人のことを考えてバスに乗ることが大切だね！</p>	<p>雪まつりの雪像は迫力があったね！ ぼくたちにもできるかな？</p> <p>雪まつりに負けないくらい楽しい スノーランドをつくろう！</p> <p>どんなものができるかな</p> <p>雪像作りコーナー</p> <p>雪投げコーナー</p> <p>宝探しコーナー</p> <p>的当てコーナー</p> <p>そりすべりコーナー</p> <p>雪ボウリングコーナー</p> <p>楽しいスノーランドができたね！ 大好きな1年生にも楽しんでもらいたいな そのために</p> <p>招待状をわたしたいな</p> <p>看板をつくってわかりやすくしよう</p> <p>スノーランドの全体図もつくるといいね</p> <p>1年生のためのスノーランドの準備ができたよ</p>
	雪まつりに行こう【4時間】	<p>雪まつりに行こう！</p> <p>約束事を確認しよう</p> <p>時間を守る 友達と仲良く回る 周りの人を考える</p> <p>雪まつりは楽しいね！ ルールを守って探検できたよ。</p>

3. 本時の目標と学習展開

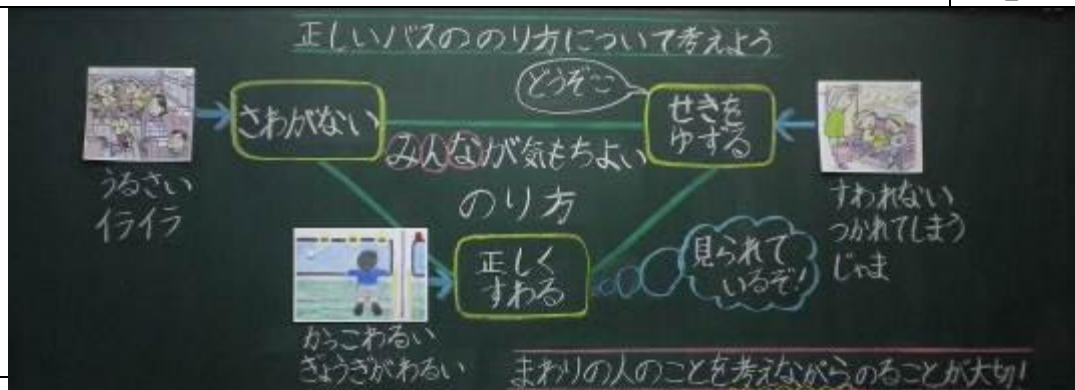
●目標

- ・周りの人のことを考えてバスに乗ることの大切さを理解し、これから自分がどのようなことに気をつけてバスに乗ると良いか考えることができる。

●展開

学習展開	教師のかかわり
<p>来週はみんなで雪まつりに探検に行くよ</p> <p>バス車内で騒ぐ 児童イラスト</p> <p>楽しそうだね</p> <p>あれ、他のお客さんはいやな顔をしているよ</p> <p>これじゃダメじゃない？</p> <p>僕たちは正しくバスに乗れるのかな？</p> <p>正しいバスの乗り方について考えよう</p> <p>どうぞ。</p> <p>さわがない</p> <p>うるさい イライラする</p> <p>みんなが気持ちよい のり方</p> <p>せきを ゆずる</p> <p>バス車内の優先 席に座っている 児童イラスト</p> <p>じゃま すわれない 疲れてしまう</p> <p>足を向けて外を見るのは、どうしていけないのかな</p> <p>騒いでいないし、邪魔になってもいい！</p> <p>正しく すわる</p> <p>直接迷惑はかけていないけれども…</p> <p>かっこわるい ぎょうぎがわるい</p> <p>周りの人に見られている！</p> <p>周りの人のことを考えながら、バスに乗ることが大切だね。</p> <p>○今後、バスに乗るときに気をつけたいことを書く。</p> <p>バスの中では騒がずに座っています。</p> <p>家族と乗るときは、お年寄りに席を譲りたいです。</p> <p>学校だけでなく、お家でバスや地下鉄に乗るときも気をつけることが大事だね。</p>	<p>○正しいバスの乗り方について考える意欲をもたせるために、間違った乗り方をしているイラストを提示する。</p> <p>○席をゆずる場面を具体的に想像できるようにロールプレイの場を設ける。</p> <p>○周りの乗客に直接迷惑をかけていないイラストを提示し、公共の場では常に他者に「見られている」という視点からマナーについて考えられるようにする。</p> <p>○乗る際のマナーはバスだけでなく、電車や地下鉄など他の公共交通機関でも同様であることを確かめる。</p>

板書計画



4. 本時で活用する資料と本時の様子

●本時で活用する資料

バス車内で騒ぐ
児童のイラスト

バス車内の
優先席に座る
児童のイラスト



足を向けて外を見る
イラスト

東京書籍「新しい生活 下」
～何に気を付ければいいのか～

●本時の様子



[本時の板書]

